

4、結語

前述の説明、資料は一部であり、それ以外にも大きな医療環境の違いが上げられる。立会い業務、預託在庫、トラッキング、支払いサイト、一括大量購入システムの有無等さまざまな違いが日、欧米間に見られる。

医療材料の内外価格差はこれら医療環境の違いにより生じているものと理解しており、これら環境の改善なく、内外価格差のみで償還価格が決められることに将来的な日本の医療の提供に不安を感じている。

現在でも日、欧米の承認されている医療材料の世代の格差は開いており、近年では中国、韓国より遅れている。

このような状況下での価格引下げは、外資系企業の投資意欲をなくすことが予想される。(参考資料)

価格引下げを伴う投資意欲の継続には、製品導入システム、経費、時間、商習慣等の改善が不可欠であり、価格決定プロセスには、これら日、欧米の医療環境を行政、業界とで十分に調査し、中医協においてその決定プロセスに加味していただけるようお願いいたします。